

1 主題名・ 教材名	主題名「 ありがとうに こめられたおもい 」 教材名「 たくさんのおもいがつまった くも合せん 」
---------------	--

2 道徳的価値について 家族など生活を支えてくれている人々や現在の生活を築いてくれた方々に、尊敬と感謝の気持ちをもって接することが大切である。 自分の生活を支えてくれる人の思いを考え、その人たちの存在意義に対する理解を深め、尊敬と感謝の念をもって接することができるようにすることが大切である。	3 児童について この時期の児童は、学校や地域の中でたくさんの人たちと関わり合いながら生活をしている。しかし、感謝の対象として直接自分が世話になったなど利己的な場面での感謝が多い。世話になっている地域の人たちや、今の生活を築いてくれた方々に対しての関心を広げ、その恩恵に気付いていくことができるようになる時期である。
--	---

4 教材について 主人公のあおとくん。くも合戦保存会の仕事をしているおじいちゃんが、学校にくも合戦の実演を見せに来てくれたので何気なく「ありがとう」と伝えた。あおとくんは、始良のくも合戦に今までも参加していた。しかし、なかなか勝てなかったため今年も参加するかどうか迷っていた。そんな中、保存会の仕事をしているおじいちゃんが、くも合戦が開催できるかどうか不安に思っている様子を目の当たりにした。そのおじいちゃんがくも採りツアーに誘ってきたので、何も考えずに「行くよ」と答えていた。くも採りツアーを通して、おじいちゃんをはじめ、くも合戦保存会の方々の「四百年続くくも合戦を大切に伝承していきたい。」という強い思いに気付き、帰宅後おじいちゃんに対して、尊敬と感謝の念を抱きながら「おじいちゃんありがとう。ぼくもくも合戦がんばるね。」と伝えることができた。
---



5 ねらい	伝統行事を伝承しようとしている方々の気持ちに気付くことを通して、現在の生活を築いてくれた方々に尊敬と感謝の念をもとうとする態度を育てる。
6 指導にあたって	伝統行事を継承しようとしている方々の気持ちを知る前と後の「ありがとう」の意味を考えることを通して、ねらいとする道徳的価値について深く考えることができるようにする。

7 板書イメージ

・ 日頃支えてくれている人の思いを考える。

・ 今だけでなく、昔から伝統を築き上げてくれた方々の思いを考える。

・ 支えてくれる人々たちへの感謝

・ 伝統を守り続けてくれたことへの感謝

・ 保存会の方々への感謝

・ (先達への感謝)

ありがとう

おじいちゃんたちが支えてくれてるんだ。

伝統を守ってくれてありがとう。

ありがとう

くも合戦のことを大切にしているんだ。そこまで考えているんだ。

来てくれてありがとう  
みんな喜んでいたら

ありがとう

ありがとう

もつとたくさんの「ありがとう」に気付くには、どんな気持ちや考えが大切だろう。

ありがとう

もつと  
助けてくれた  
自分が  
された時

もつと  
あるはず!

過程	主な学習活動と児童生徒の反応	指導上の留意点
導入	<p>1 自分の経験を振り返る。 「ありがとう」ってどんな時に使うかな。</p> <div style="border: 1px dashed orange; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何かをしてもらった時</li> <li>・何かを貸してもらった時</li> <li>・うれしいことをしてもらった時</li> <li>・何かをもらった時</li> </ul> </div> <p>2 本時の学習のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>もっとたくさんの「ありがとう」に気付くには、どんな気持ちや考えが大切だろう。</p> </div>	<p>○ 「ありがとう」を使う場面が、利己的な原因であることが多いことに気付くようにする。 感謝の対象はこれだけでいいのかと気付かせることを通して、もっとたくさんのありがとうを伝えるためにはどのような気持ちや考えが大切かというめあてへとつなげるようにする。</p>
展開	<p>3 教材文を読み、主人公の心情について話し合う。</p> <p>(1) 学校に来てくれたお礼を言っているときの気持ち</p> <p>(2) バスの中でおじいちゃんの話聞いて眠れなかったときの「あおとくん」の気持ち</p> <p>(3) くも採りツアー終了後、「おじいちゃんありがとう。ぼくもくも合せんがんばるね。」と言った時の気持ち</p> <p>4 最初の「ありがとう」と、家に帰りついてからの「ありがとう」の違いについて考える。 ※ 何に対しての「ありがとう」が大切か</p> <div style="border: 1px dashed orange; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支えてくれる人たちへの感謝</li> <li>・伝統を守り続けてくれたことへの感謝</li> <li>・保存会の方々への感謝</li> <li>・(先達への感謝)</li> </ul> </div> <p>5 身の回りの感謝にもっと気付くために大切な気持ちや考えをまとめる。</p> <div style="border: 1px dashed orange; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃支えてくれている人の思いを考える。</li> <li>・今だけでなく、昔から伝統を築き上げてくれた方々の思いを考える。</li> </ul> </div>	<p>○ 利己的な「感謝」に気付くようにする。</p> <p>○ 「勝てないから出たくない。」といった心の弱さにアプローチする。</p> <p>○ 保存会の気持ちに迫り、伝統を守り続けていくことの難しさを共有する。</p> <p>○ 同じ「ありがとう」だが、あおとくんの気持ちを入れるとどのような違いがあるのかを役割演技させる。さらに、後半の「ありがとう」について深く考えさせる。</p> <p>○ どのような気持ちや考えをもてばもっとたくさんの「ありがとう」に気付けるか、めあてからせまるようにする。</p> <p>○ その後、心が温かくなった理由を考えさせる。</p>
終末	<p>6 普段の自分の生活を支えてくれている人を出し、感謝の思いや尊敬の念を発表する。</p> <p>7 授業を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことを振り返り、感じたことや考えたことを交流する。</li> <li>・スクールガード、加治木饅頭、太鼓踊り等に携わる方々からのメッセージを視聴する。</li> </ul>	<p>○ 普段の生活を支えてくれている相手の気持ちを想起させ、感謝する気持ちや尊敬する気持ちをもてるよう声掛けをする。</p> <p>○ 支えてくれる人は、直接知らない人でも、近くに大勢いるという事にも気付かせる。</p>